

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| 教育活動の柱           | <b>■校訓 自由・自律・叡智・創造</b>  |   |   |
|                  | <b>■学校教育目標</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自ら考え、自ら学び、自ら鍛える教育</li> <li>2 人間相互の理解と信頼を深め、調和的成長を目指す教育</li> <li>3 責任を重んじ、豊かな社会性と公正な判断力を養う教育</li> </ol>                              |   |   |
|                  | <b>■目指す学校像</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒が失敗や成功を繰り返しながら成長し、夢を叶えることができる学校</li> <li>2 生徒の心の居場所となる学校</li> <li>3 生徒の社会的・職業的な自立に向けて、キャリア発達を促す学校</li> </ol>                      |   |   |
| 本校の使命            | <b>■目指す生徒像（重点目標）</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自ら考え、判断し、自律的な行動ができる生徒</li> <li>2 基礎学力と基本的な生活習慣を身に付けた生徒</li> <li>3 気力・体力を養い、活気ある明朗な生徒</li> </ol>                               |   |   |
|                  | <b>■教育課程編成の方針</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎基本を重視し、確かな学力の育成を図る教育課程を編成する。</li> <li>2 生徒の多様な能力・適性・進路等に応える教育課程を編成する。</li> <li>3 特別活動を重視し、豊かな心・健康な体の育成を図る教育課程を編成する。</li> </ol> |   |   |
| <b>■本年度の経営方針</b> |   |   |   |
|                  | 重点事項（経営方針）  | 今年度の目標  | 目標達成のための評価の観点   |
| 学校経営             | 1 教職員の経営参画意識の高揚と、課題を共有し、一致して学校運営にあたる体制づくり   | ◇新学習指導要領の導入を見据えた教育全般の点検及び職員の協働体制確立<br>◇校内組織の活性化<br>◇安全管理や危機管理の意識の高揚と対応の充実 | • 本校の在るべき姿の検討とその共有<br>• 担任と分掌・各委員会との連携強化及び役割分担の明確化<br>• いじめ・不登校などの潜在リスクに対する予防策の検討<br>• 服務規律や法令の理解促進に係る研修の実施 |
|                  | 2 研修や評価の充実による教職員の力量の一層の向上   | ◇教職員の専門性を培う研修の充実<br>◇授業改善に資する評価の充実  | • 学校課題に沿った研修の実施（授業改善、観ポイント学習評価、特別支援教育、教育相談等）<br>• 授業評価を活用した授業改善のPDCAサイクルの確立                                 |
|                  | 3 地域や保護者の信頼と期待に応える開かれた学校づくり   | ◇積極的な情報の公開<br>◇学校改善に資する効果的な学校評価の実施  | • HPでの積極的発信、各種便りの定期発行<br>• 学校評価項目の工夫・改善   |

|  |   |
|--|---|
| 目指す生徒像の実現  | <p>■目指す生徒像の実現（これからの本校の教育）</p>   |
|  | <p>1 自ら考え、判断し、自律的な行動ができる生徒</p> <p>◆育成する資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志 主体的に課題を発見し解決に導く力</li> <li>・コミュニケーション能力</li> <li>・創造性 チャレンジ精神 忍耐力 自己肯定感</li> </ul> <p>◆学校全体で取り組むべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びの推進</li> <li>・総学を活用したライフスキル教育の推進とその検証</li> <li>・キャリア教育の全体計画に基づく、組織的・系統的なキャリア教育の推進</li> <li>・社会性を育む体験活動の充実（多彩な体験、手作り感の重視）</li> </ul>  |
|  | <p>2 基礎学力と基本的生活習慣を身に付けた生徒</p> <p>◆育成する資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力 幅広い教養</li> <li>・忍耐力 自己肯定感</li> <li>・思いやり コミュニケーション能力 多様性を受容する力</li> </ul> <p>◆学校全体で取り組むべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着を図る「基礎基本を重視した学び」の推進（少人数でわかる授業の推進、観点別学習評価の推進、学習支援員（大学生）の効果的活用）</li> <li>・思考力・判断力・表現力を伸ばさせる主体的・対話的で深い学びの提供</li> <li>・個に応じた教育の推進（補習、進学希望者への個別指導、学び直しの実施）</li> <li>・履修と修得の分離など弾力的な教育課程の編成</li> <li>・挨拶の励行、規範意識の高揚を図る組織的な生徒指導</li> </ul> |
| <p>3 気力・体力を養い、活気ある明朗な生徒</p> <p>◆育成する資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志 体力 リーダーシップ</li> <li>・チャレンジ精神 忍耐力 自己肯定感</li> </ul> <p>◆学校全体で取り組むべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動や特別活動の充実</li> <li>・インターンシップの推進、ボランティア活動の推奨</li> <li>・健康管理に関する意識啓発の推進</li> <li>・きめ細かな生徒観察と教育相談の充実（SCの積極的活用）</li> </ul> |   |
| 共通認識   | <p>■必要な共通認識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人で抱えない、まわりに相談（気持ちを軽く、視野を広く、議論を深く）</li> <li>○時機を失せず、早めの対応（報・連・相の徹底、遅れがトラブルになる）</li> <li>○ヒヤリ・ハットの段階での対処（重大事故・災害の防止は予防から）</li> <li>○信頼を失わないこと（公務員としての原則は押さえること、説明できること） <ul style="list-style-type: none"> <li>＝不祥事を起こさない（交通事故・違反、体罰、わいせつ行為、セクハラ、金銭事故）</li> </ul> </li> </ul>  |